

寒稽古

寒稽古（かんげいこ）とは、寒の時期に、武道や芸事の修練を行うこと。技術の向上とともに、寒さに耐えながら稽古をやり遂げることで、精神の鍛錬をするという目的にも重きをおかれて行われるものである。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

しかし、本校の弓道場は寒すぎます。この環境での荒稽古は、身体の故障と精神崩壊へと向かって頑張っているようなものです。また、公式戦もなくなり、モチベーションが低下しがちですが、道場をブルーシートでビニールハウス状態にして防寒対策を取りながら、基礎力の強化に取り組んでいます。



「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」

これは元三洋電機副社長、後藤清一氏の言葉ですが、この言葉を心に、夏の大会に向けて頑張っています。

一般財団法人武井スポーツ育成会から選手強化助成事業による補助金を頂けることになったので、遠的矢を3組購入しました。早速グラウンドで、遠的練習に取り組んでいます。3月末から国民体育大会の選手選考会が始まりますが、国体選手になるには遠的も中らないといけません。

春からの試合で、練習の成果が出ますように・・・



これぐらい中てたいですね